



大久保あきら通信

2021.11 No.24

大久保あきら後援会事務所

〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5(有限会社大輝不動産内) TEL096-233-1237

9月定例議会で、新型コロナウイルスとワクチンに関する一般質問をおこないました

○一般質問冒頭に、新型コロナウイルスに関する持論を申し上げました。

昨年1月16日に日本国内で新型コロナウイルスの感染が確認され、当時ほどの程度の危険なウイルスであるのか不透明であったが、それから世間は未知のウイルスへの恐怖からパンデミックの様相を呈した。

それから1年半以上が経過し、様々なことが分かってきている。私は、現在の状況はパンデミックというよりもインフォデミックと言える状況になってしまっているのではないかと考える。

毎日のように新型コロナウイルスについてのみ、本日の感染者数は何人でしたという発表と報道から、今は新型コロナウイルスに感染し、その病状が悪化する恐怖もあるが、それ以上に感染したことそのものが悪いことであるかのような社会の雰囲気、その結果受ける差別や偏見を恐れている方も多いのではないかと感じている。

このような状況の中、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が実施され、自粛が続き、私たちの日常から当たり前が失われた。もちろん命を、医療を守ることの大切さを疑う余地はない。しかし、今現在のコロナ対策もまた、誰かへの大きな痛みを伴っている。だからこそ正しい情報とデータに基づき行動しなければならない。

当初はワクチンの接種が進めば集団免疫を獲得できるといった話もあったように思うが、現在接種が進んでいるワクチンは、発症や重症化は予防されても、感染そのものを予防するものではない。政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会は、希望者全ての接種が終わっても集団免疫の獲得は困難と記したとの報道がされている。

新型コロナウイルスは新型インフルエンザ等対策特別措置法により指定感染症2類相当、1類運用扱いとなっている。2類は結核やSARS、1類はエボラ出血熱やペストがこれに該当するが、私は新型コロナウイルスがエボラ出血熱のような感染後の致死率60%とも80%とも言われるウイルスと同じような扱いになっていることが問題であると考えており、早急にインフルエンザと同じ扱いとなる5類へ変更されることが新型コロナウイルスの収束、そしてインフォデミックの収束へとつながるものと思っている。



大久保あきらの一般質問

9月定例議会での一般質問の要旨

新型コロナウイルス及びワクチンについて

Q PCR検査陽性者はイコール新型コロナウイルス感染者という認識か。

A PCR検査陽性者イコール感染者とは認識していない。

Q では、なぜ町のホームページには、新型コロナウイルス感染者という表記をしているのか。町はPCR検査陽性者イコール感染者とは認識していないのであれば、表記に矛盾があるのではないか。

A 正しくは、その陽性者が全員感染者になっているのかはわからないが、県が公表している内容に準じて町のホームページも表記している。

Q ワクチンの効果は

A ファイザー社製・武田/モデルナ社製・アストラゼネカ社製で約95%~70%の発症予防効果が確認されている。



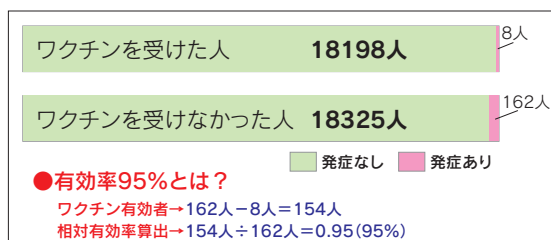
ファイザー社製有効率95%の予防効果の計算方法は下記の通り

ファイザー社製ワクチンの治験結果
表1 SARS-CoV-2による感染症に対する有効性

		解析対象例数	SARS-CoV-2による感染症確定例数	ワクチン有効性 [95%信用区間] (%)
VE1 ^{a)}	本剤接種群	18198	8	95.0 [90.3, 97.6]
	プラセボ接種群	18325	162	
VE2 ^{a)}	本剤接種群	19965	9	94.6 [89.9, 97.3]
	プラセボ接種群	20172	169	

(ファイザー社製ワクチンの添付文書の一部)

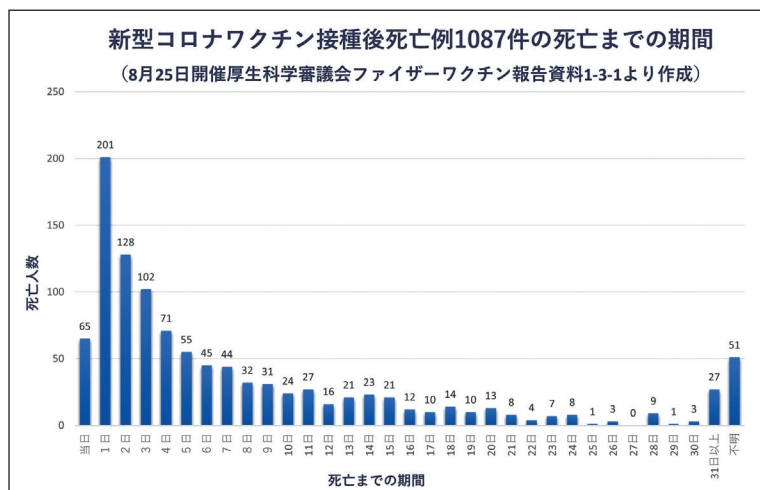
左記の表をわかりやすく表現すると、下記の通りとなる。



つまりこの治験結果に基づくと、接種してもしなくても99%以上の確率で感染しないということになる。

尚、8月25日付厚生労働省の資料によれば、ワクチン接種後の死亡者報告数は1,093件。そのうち因果関係が確実に認められないものが5件、あとは評価できないとなっている。

また、厚生労働省はワクチンと副反応による死亡については(8月25日発表時点で)1件も因果関係を認めていないが、接種した何日後に亡くなられたかをグラフにすると下記の通りとなる。



※ワクチン接種後の死亡について、厚生労働省はワクチンとの因果関係を認めていないが、左のグラフではワクチン接種後、2日目が最も死亡者数が多く、それから徐々に死亡者数は減少している。

また、8月25日18時時点での厚生労働省による全国の速報値について、死亡者数は10歳未満0人。10代 0人。20代 13人。30代 41人。40代 133人・・・と年齢が高くなるほど新型コロナウイルスによる死亡者数は増加するが、この時点で10代の死亡者数は0人である。

Q このようなことを踏まえて、12歳から18歳の子どもたちに急いでワクチン接種を促す必要があるのか。また、子どもやその保護者の方々が、このようなことをどれだけ理解して接種に臨まれているのか疑問である。ワクチン接種に対するリスクもきちんと告知いただきたいが、そのようなことはできないのか。

A 副反応等の周知は、接種券を送付した際に案内チラシ等を同封している。町で独自にというのはない。国が示す通り周知しているので、そこを加味したうえで保護者の方で判断いただいて接種を希望されているものと町は捉えている。

Q ワクチンは任意接種である。接種する子ども、接種しない子供のどちらにも差別やいじめが起こらないよう、学校での指導はされているか。

A 新型コロナワクチン接種に伴ういじめや差別につきましては、本年6月に文部科学省から通知が出されている。ワクチン接種は任意であり、受ける・受けないによって差別やいじめが起きることがないように指導することと示されており、これを受け、菊陽町教育委員会からも、各学校に同様の趣旨での通知を発出している。

菊陽町総合計画について

- ・ 今後、総合体育館の建設が進み、(仮称)第二原水工業団地に工場等が建設される計画があるが、今後の渋滞緩和策をどのように考えるか。
- ・ 定住促進について、現在までの成果と今後の計画は。などの質問をおこなった。

令和3年 第3回定例議会が開催されました

9月3日～16日に9月定例議会が開催されました

◎行政報告 町長より行政報告がありました。主な内容をご紹介します

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種については、接種を希望される方全員ができるだけ早く接種できるよう、ワクチンの供給状況を踏まえ、医療機関と調整をおこない、予約及び接種を進めている。
- ・ 地域経済の活性化を図ることを目的とした「菊陽町プレミアム付食事券事業」の準備を進めている。▶現在、ごちそうさんチケットとして販売されている。
- ・ 「子ども医療費の無料化を高校生まで視野に入れて取り組む」事業について、令和4年4月からの実施を目指して準備をするよう指示した。
- ・ (仮称)第二原水工業団地整備事業は、6月末に、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社より用地取得の申し入れをいただいている。計画区域では造成工事が開始された。▶TSMCがソニーグループと合併会社を設立し、工場を建設する予定と11月9日に各報道機関より報道された。



造成工事が進む(仮称)第二原水工業団地

◎令和2年度決算の認定

- ・ 毎年、9月の定例議会では前年度の決算の認定が主な議題となります。
令和2年度一般会計決算の状況は、歳入:212億4,308.7万円・歳出:205億4,038.7万円で差引額7億270万円。このうち、翌年度に繰越すべき財源が2億9,006.4万円で実質収支額は4億1,263.6万円の黒字となっている。
一般会計決算は賛成多数で認定された。また、特別会計決算もすべて認定された。

大久保あきらの主な動き 8月～10月

- 8月19日 議会基本条例改正検討委員会
大津菊陽水道企業団 令和3年第2回定例議会
- 8月30日 議会ICT導入検討におけるタブレット
端末操作研修会
- 9月3日～16日 菊陽町議会 令和3年第3回定例議会
- 9月16日 議員連絡会・議会全員協議会
- 9月22日 熊本県議会傍聴
中村あきひこ県議 一般質問
- 10月6日 議員研修・条例改正検討委員会
- 10月15日 議会リモート会議
- 10月20日 防災センター落成式へ出席 ※①②
議員連絡会



完成した防災センター

10月20日 菊陽町防災センターの落成式が行われ、出席しました。

当施設は、熊本地震の教訓を踏まえて整備した防災まちづくり拠点施設で、災害対応拠点となる災害対策本部室、防災備蓄倉庫をはじめ、指定緊急避難場所を兼ねた防災研修室が設けられている。また、3階部分は役場庁舎の拡張として執務室も設けられた。

大久保あきら プロフィール

- 昭和50年(1975年)7月2日生まれ
- 平成6年 熊本工業高等学校 情報システム科卒業
- 平成27年4月 菊陽町議会議員に初当選
- 平成31年4月 菊陽町議会議員 2期目当選
- 総務常任委員会副委員長 大津菊陽水道企業団議員
- 有限会社大輝不動産 代表取締役(平成16年設立)
- 家族/妻・長女・長男・母の5人。光の森1丁目に居住
- 所属団体

・菊陽町商工会 会員 ・菊陽町野球協会 会長 ・菊陽町防災士連絡協議会 会員 ・熊工会 代議員 ・熊本東倫理法人会 幹事	・NPO法人 住宅債務者支援センター 理事長 ・日創研 熊本経営研究会 会員 ・日本会議 会員 ・夢街光の森会 相談役
--	--



大久保あきら
オフィシャルサイト



大久保あきらの活動の一環として、「大久保あきら通信」を発行させていただいております。皆様へ議会のことを少しでも発信できるように頑張って取り組んで参りたいと思います。どうぞ、宜しく願い申し上げます。皆様のご意見やご要望も頂ければ幸いです。

■ご意見・ご要望は後援会事務所、電話またはE-mail・LINEで
〒869-1108 菊池郡菊陽町光の森6丁目19-5 (有限会社大輝不動産内)

大久保あきら
LINE



▶ TEL 096-233-1237 ▶ E-mail ohkubo@daiki-f.co.jp